

W i n d プラン2014 令和元年度実施状況について（審議会委員からの事前 意見・質問）

報告書 ページ	N O	具体的な施策 令和元年度事業実施内容	意見・質問等	回答・考え方	担当課
21	8	<p>学校教育における男女平等教育の推進</p> <p>各学校において、性別に関わらず個性と能力を發揮し、互いに尊重し合う学習が充実するよう、人権教育に関する研修講座を実施し、教職員の意識の高揚を図ります。</p>	<p>当事業の成果と思われませんが『あなたとわたしはちがうけどとっても大じなおもだち』の標語が、敷島小学校南口校門にあります。毎朝ウォーキング時、眺めて嬉しく感じております。</p>	<p>学校における取組みを具体的に見ていただき、ありがとうございます。</p> <p>当プラザにおいては、「人権教育研修」や、「人権教育授業研修」等の研修講座において、各学校・幼稚園の教員に対して人権集中学習の取組の事例を紹介したり、各学校・幼稚園の取組を情報交換する場を設けたりしております。今後とも、研修の機会を活用しながら、各学校・幼稚園への情報提供をしてまいります。</p>	教育プラザ
37	14-①	<p>リプロダクティブ・ヘルス/ライツの取組</p> <p>生涯を通じた女性の健康支援のため、無料で子宮頸がん・乳がん検診を行います。</p>	<p>②の乳がん検診率は、H30、R1年度の受診促進は向上しています。</p> <p>①の子宮頸がんに関しては26%と横ばいです。国際的にみても日本人の検診率が低いので、早期発見の普及啓発をお願いしたいです。</p>	<p>子宮頸がん検診の普及啓発事業については、毎年、市内の大学・専門学校等10か所へ普及啓発資料を配布し、そのうち、7か所については、普及啓発講話をし、20歳代から受診する重要性について、周知を図っております。また、令和元年8月には、検診対象となる20歳（および25歳、30歳、35歳）の未受診者へはがきを送り、受診再勧奨を行いました。その他、精密検査未受診者への再勧奨事業を実施し、早期発見につながるよう努めております。</p> <p>今後も、特に若い世代への受診勧奨を中心に早期発見・治療に関する普及啓発を実施して参りたいと思います。</p>	健康増進課
121	47-②	<p>子育て支援の充実及び男性の利用の促進</p> <p>地域子育て支援拠点事業、乳幼児の育児支援事業、幼児教育センター事業の充実を図ります。また、父親等男性の利用を促進します。</p>	<p>離乳食講習会に男性が一部あります。今後コロナ禍において事業の発信をリモートなども活用する計画はありますか。</p>	<p>現在、通信環境及び機器、編集環境の整備と、発信できる素材の準備に着手しているところです。</p> <p>普段仕事で保健センターに来所できない家族が自宅等でも情報を入手できるような発信方法を考えています。</p> <p>一方向の情報提供だけでなく、オンライン教室やオンライン相談等についても順次進めていく予定です。</p>	子育て支援課